

地震避難行動



大地震が来た時に、自宅が倒壊、焼失していなければ、そのまま自宅に留まって生活してください。避難所が混雑すると新型コロナウイルスに感染したり、クラスターを発生させる危険が高まります。分散避難された方で支援物資などが必要な方は避難所にて在宅避難者名簿に登録をおこなってください。

分散避難

ホテル、知人宅、親戚



道路等の安全が確保出来たら、車両による避難も可能です。



自治会館

分散避難場所が見つからない場合は緑台小学校区の住民の方は緑台小学校へ、もえぎ台小学校区の新磯野第2自治会の住民の方はもえぎ台小学校へ避難してください。



地震、その時の10ポイント

1 地震だ!!! 身の安全を守ってください。

- 丈夫なテーブルの下や、物が「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」空間に身を寄せ、揺れがおさまるまで様子を見る。
- 高層階では、揺れが数分続くことがある。
 - 長周期振動により家具類が転倒・落下する危険に加え、大きく移動する危険がある。

2 落ちついて火の元確認初期消火

- 火を使っている時は、揺れがおさまってから、あわてずに火の始末をする。
- 出火した時は、落ちついて消火する。

3 あわてた行動 けがのもと

- 屋内で転倒・落下した家具類やガラスの破片などに注意する。
- 瓦、窓ガラス、看板などが落ちてくるので外に飛び出さない。

4 窓や戸を開け 出口を確保

- 揺れがおさまった時に、避難ができるよう出口を確保する。

5 門や塀には近寄らない

- 屋外で揺れを感じたら、ブロック塀などには近寄らない。

6 火災や津波 確かな避難

7 正しい情報 確かな行動

- ラジオやテレビ、消防署、行政などから正しい情報を得る。

8 確かめ合おうわが家の安全 隣の安否

- わが家の安全を確認後、近隣の安否を確認する。

9 協力し合って救出・救護

- 倒壊家屋や転倒家具などの下敷きになった人を近隣で協力し、救出・救護する。

10 避難の前に安全確認 電気・ガス

- 避難が必要な時には、ブレーカーを切り（ガスの元栓を締めて）避難する。

